

第5学年 音楽科 評価規準

時期	題材名 ○主な教材	主な評価領域	評価規準
4月	にっぽんのうた みんなのうた ○こいのぼり (2時間)	知識・技能	「こいのぼり」の曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。
			呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で「こいのぼり」を歌う技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	「こいのぼり」の旋律のもつリズム、旋律の流れやまとまりを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
		主体的に学習に取り組む態度	「こいのぼり」の歌詞や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4月 ～ 5月	和音や低音のはたらき ○茶色の小びん ○こきょうの人々 (5時間)	知識・技能	曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
		主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
5月 ～ 6月	〈音のスケッチ〉 ○和音に合わせて せんりつをつくろう (3時間)	知識・技能	和音と旋律との関わり、旋律のつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて理解している。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	旋律や和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
		主体的に学習に取り組む態度	和音と旋律との関わりや、和音に合わせて旋律をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第5学年 音楽科 評価規準

6月～7月	アンサンブルのみよく〈合唱〉 ○いろいろな合唱 ○花 ○ハロー・シャイニング ブルー (6時間)	知識・技能	曲想と声の重なる響きなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や伴奏、全体の響きを聴いて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	音の重なりや音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの形態の合唱の響きや演奏のよさを見いだして聴いたり、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったりしている。
		主体的に学習に取り組む態度	いろいろな形態の合唱の響きや、自分たちで工夫して表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
毎時	〈めざせ 楽器名人〉 「星笛」	知識・技能	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わり、リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりについて理解している。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	音色やフレーズ、拍、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらのよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
		主体的に学習に取り組む態度	声部のかけ合いや重なりを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
9月	アンサンブルのみよく〈オーケストラ〉 ○組曲「カレリア」から「行進曲風」に」 (3時間)	知識・技能	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。
		思考・判断・表現	音色、音の重なり、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。
		主体的に学習に取り組む態度	楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第5学年 音楽科 評価規準

9月	にっぽんのうた みんなのうた ○赤とんぼ (1時間)	知識・技能	「赤とんぼ」の曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。
		思考・判断・表現	思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。
		主体的に学習に取り組む態度	「赤とんぼ」の歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
10月	パートの役わり ○風とケーナのロマンス (4時間)	知識・技能	曲想と楽器群の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。
		思考・判断・表現	楽器の音色や楽器群ごとの響き、旋律の反復と変化を聴き取り、それらのよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさを見出し、曲全体を味わって聴いている。
		主体的に学習に取り組む態度	楽器群の響きや作品の背景に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
10月 ～ 11月	日本の音楽 ○子もり歌 ○会津磐梯山 ○音戸の舟歌 ○こきりこ節 ○谷茶前 (5時間)	知識・技能	曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりについて理解している。
		思考・判断・表現	旋律や音色、音の重なり、拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもったり、演奏のよさを見いだして聴いたりしている。
		主体的に学習に取り組む態度	我が国の音楽の特徴や、人々の暮らしとの関わりについて興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第5学年 音楽科 評価規準

11月	豊かな表現 ○地球の向こう側の君へ ○冬げしき (6時間)	知識・技能	曲想と旋律や拍など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。
			思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発声の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	旋律や拍などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさなど感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
		主体的に学習に取り組む態度	曲の特徴にふさわしい表現をする活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
12月	〈音のスケッチ〉 ○いろいろな声で音楽をつくろう (2時間)	知識・技能	多様な声の響きやそれらの組合せの特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。
			発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	音色、音の重なり、強弱などを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的な表現を通して音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。
		主体的に学習に取り組む態度	詩をもとにしていろいろな声で表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
1月	にっぽんのうた みんなのうた ○スキーの歌 (2時間)	知識・技能	「スキーの歌」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解している。
			各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて「スキーの歌」を歌う技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	「スキーの歌」の旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
		主体的に学習に取り組む態度	「スキーの歌」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

— 5 年音樂5 —

第5学年 音楽科 評価規準

3月	〈音のスケッチ〉 ○ずれの音楽を楽しもう (2時間)	知識・技能	反復するリズムのつなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さと関わらせて理解している。 思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる技能を身に付けている。
		思考・判断・表現	リズムや、音楽の縦と横との関係などを聴き取り、そのよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったことの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
		主体的に学習に取り組む態度	リズムのずれの面白さを生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
随時	〈変奏曲を楽しもう〉 ピアノ五重奏曲「ます」第4楽章から	知識・技能	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解している。
		思考・判断・表現	旋律、音楽の縦と横との関係、変化などを聴き取り、それらの生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。
		主体的に学習に取り組む態度	変奏曲に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。